

振興計画とまちの発展



建設中の国体道路（県道 23 号線）

1973 年（昭和 48）撮影（北谷町公文書館蔵）
1970 年（昭和 45）に嘉手納飛行場の一部・上勢頭地域が返還され、復帰記念事業として 1973 年（昭和 48）の若夏国体開催時に国道 58 号とコザ市（現沖縄市）を結ぶ県道 24 号（国体道路）が開通しました。これに伴い、上勢頭地区と桑江地域の宅地開発が本格化しました。



北谷漁港整備 地鎮祭

1974 年（昭和 49）撮影（北谷町公文書館蔵）



現在のニライセンター前の道路

1976 年（昭和 51）撮影（北谷町公文書館蔵）
桑江地域は、「北谷村第一次振興計画」にもとづいて、1975 年（昭和 50）頃から宅地の開発整備が行われました。住宅地の中に中央公民館や総合運動公園・北谷町消防本部（当時）・県立北谷高等学校・桑江公園などの公共施設がつけられました。

現在、ニライセンターがある写真左手の空き地には、中央公民館が建設されました。



北谷村初の公営住宅 栄口団地

1971 年（昭和 46）頃（北谷町公文書館蔵）

当時の北谷村は、総面積の 7 割が軍用地に接収され、用地が少ないため住宅を求めることが困難で、高価な家賃で間借りしているものが少なくない現状でした。

そこで、住宅難の解消と低所得者層へ低廉な家賃で賃貸することによって住民の生活の安定と社会福祉の増進を図ることを目的に、1970 年度から 3 カ年計画で公営住宅の建設を推進しました。